

主な記事  
 2・3面 都本部春闘2025春闘討論集会  
 立憲部議団との意見交換会(社福評・衛医評)  
 2025年度地方財政セミナー  
 2025年度自治労くらしとこどもの福祉を考える全国集会  
 コラム 春闘って関係あるの?「あります!」  
 4面 私のおすすめ(日野市職員組合 執行委員長 宇野 雅勝)  
 連載 私たちが働きやすい職場づくりを「岸まきこ」とともに◎ 民間協

# 自治労東京

千代田区飯田橋3丁目9番3号  
 SKプラザ4階  
 電話 03-3556-3755  
 自治労東京都本部 発行  
 企画 総務局  
 責任者 松村 誠治  
 編集者 須崎 崇文  
 1部10円(但し組合員は組合費を含む)

## スト批准82.81% 組合員の声に応え労使交渉を積み上げよう

### 都本部2025春闘 賃上げ・人員確保、春闘から積み重ねを

2025春闘がスタートした。自治労は本年も「あなたの声ではじまる春闘」をキーワードに、組合員の様々な声を集め要求書を提出し、要求実現に取り組み。本年のストライキ批准率は都本部全体で82.81%となった。組合員の団結を背景に、都本部は2月18日の単組代表委員会で春闘方針を確立した。3月14日の統一行動日にむけ、各単組での交渉支援を強化する。



▲連合2025春季生活闘争  
闘争開始宣言2.6中央総決起集会の様子

#### 連合2025春闘の動向

連合は今春闘において、定期昇給を含めた賃上げ目標を、全体で5%以上、中小企業では企業規模間の格差是正を含めて6%以上と定めた。有楽町よみうりホールで開催された連合2025春季生活闘争 闘争開始宣言2.6中央集會において、連合の芳野会長は「25春闘の最大のミッションは賃上げの流れを定着させ、そのすそ野を中小企業、地方、そして労働組合のない職場にまで広げることだ」と述べた。連合は、「多くの人が生活向上を実感し、将来への希望と安心

#### 都本部の2025春闘

都本部2025春闘方針では「すべての公共サービス労働者の賃金水準の改善」「格差是正と公正なワ

感を持ってこそ、賃金、経済、物価を安定した巡航軌道に乗せることができる」と春闘方針でも掲げている。そのためには物価を安定させるとともに、2024春闘における賃上げの流れを定着させ、賃上げのすそ野を広げていく必要がある。民間賃金の上昇が、民間の相場賃金水準を踏まえて決定される公務員の賃金を引き上げることにもつながっていく。

「クルールの確立」「安心して働き続けられる職場環境の整備」「良質な公共サービスの確保」を掲げ、春闘を起点とした労使交渉レベルと1年の要求を確立し、全単組で要求の実現をめざす。統一要求書においては、適正な人員配置について労使交渉・協議を行うこと、急激な物価上昇に見舞われている東京の生活実態に見合う賃金および一時金水準へ引き上げること、会計年度任用職員の雇用安定のため公募に依らない再雇の任用回数制限を撤廃することなど9項目を重点要求として盛り込んだ。とりわけ賃金に関しては、再任用職員を含めたすべての職員の物価上昇に見合う賃上げ、そして多摩地域自治体の地域手当水準を東京都と同等の20%とすることは大きな課題だ。また、人員配置・人員確保については、年々行政ニーズが増え続ける現状では、対応する人員が不足しているため、業務の繁忙、長時間労働の常態化によるハラスメントの誘発、メンタル疾患の要因となるなど離職や休職の増加が懸念され、都本部機関紙「スラアングレート」などで寄せられる組合員の声からも逼迫した状況が多く伝えられている。さらに、近年は豪雨災害などの大規模災害も頻発しており、他自治体からの応援で急場をし

のぐも、応援する側の自治体にも人的余裕はなく、非常時に対応できる体制の構築が喫緊の課題となっている。こうした状況を踏まえ、自治労2025春闘と同様、都本部方針でも「人員確保」を最重点課題として設定し、すべての単組が人員確保を春闘期から要求することを掲げている。

各職場における課題は賃金だけではない。長時間労働の問題や上記のような人員確保の課題など解決すべきことは多岐にわたっており、要求しないことには解決しない。そのため、都本部2025春闘を1年間の闘争のスタートとし、労使交渉を積み上げていく必要がある。多くの課題は一朝一夕に勝ち取れるものではないが、取り組み続けることで要求実現につながる。年間を通じて配置される様々な統一闘争を契機に、各単組が統一的に交渉に臨み、近隣単組の情報を共有し交渉を優位に進め、目標到達点の底上げをはかる。そのスタートとなる春闘だ。改めて組合員の結集を求めよう。

前回(2024年)の東京都議会議員選挙の投票率は42.39%であり、特に若年層の投票率の低さが顕著に表れた。2025年の東京都議会議員選挙でも投票率の低さが懸念される。しかし、私たち自治労の組合員にとって、都議選は労働環境や住民サービスのあり方を左右する重要な選挙である。東京都の政策や予算の決定は、自治体の職場環境や人員配置、公共サービスの充実直結していることから都議会でどのような議論が行われているのかを見極めることが必要である。人員不足の解消、非正規職員の処遇改善、委託契約の改善、公共サービスの質の向上など、こうした課題を前進させるためにも、私たちの一票が未来を決める力になる。組合員として、職場の声を政治に反映させるために、まずは自身が投票に行くことが大切である。そして、仲間にも選挙の重要性を伝えていこう▼2025年6月予定の都議選、都本部の推薦する候補の勝利をめざし、必ず投票を!

(平間)

#### 「退職される皆様へ」



自治労東京都本部  
中央執行委員長  
松村 誠治

結ぶに、皆様のご健勝と参加にご協力をお願いいたします。

今年度をもって退職される皆様は、多くの命を奪い人々の地震において、未だ復旧が「ス」を充実させるために、ない共生社会」や「ジェンダー平等社会」などの実現をめぐり、宮崎での地震や全や、災害関連死者数が直接組織を一層強化してまいりまいます。また、2025年は「戦も、再任用期間中においても組合へご加入いただき、都本部運動への積極的なご参加にご協力をよろしくお願いたします。

今年度をもって退職される皆様は、多くの命を奪い人々の地震において、未だ復旧が「ス」を充実させるために、ない共生社会」や「ジェンダー平等社会」などの実現をめぐり、宮崎での地震や全や、災害関連死者数が直接組織を一層強化してまいりまいます。また、2025年は「戦も、再任用期間中においても組合へご加入いただき、都本部運動への積極的なご参加にご協力をよろしくお願いたします。

さて、2024年を振り返ってみると、新年早々に能登半島を襲った大地震から1年が経過した能登半島を守るための「公共サービス久平和」をはじめ「差別の

能登半島を襲った大地震から1年が経過した能登半島を守るための「公共サービス久平和」をはじめ「差別の

能登半島を襲った大地震から1年が経過した能登半島を守るための「公共サービス久平和」をはじめ「差別の

能登半島を襲った大地震から1年が経過した能登半島を守るための「公共サービス久平和」をはじめ「差別の

能登半島を襲った大地震から1年が経過した能登半島を守るための「公共サービス久平和」をはじめ「差別の

能登半島を襲った大地震から1年が経過した能登半島を守るための「公共サービス久平和」をはじめ「差別の

(平間)

能登半島を襲った大地震から1年が経過した能登半島

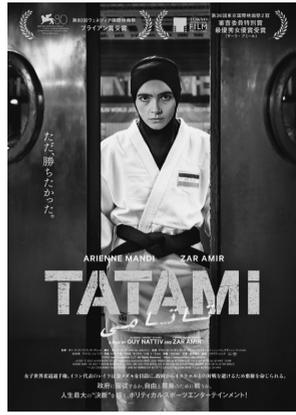




シネマジャーナル  
編集者  
穂曇 萌

# 『TATAMI』 監督：ガイ・ナッティブ、ザラ・アミール

## 『TATAMI』 監督：ガイ・ナッティブ、ザラ・アミール あなたならどうする？ 女子柔道選手の不屈の戦い



●公開 2025年2月28日～  
新宿ピカデリー  
(電話050-6861-3011)  
MOVIX昭島(電話050-6861-0325)  
他都内12か所の映画館にて  
©2023 Judo Production LLC. All Rights Reserved

イスラエルとイラン出身の監督による映画史上初の対戦を避けるため、政府から棄権を命じる連絡がくる。準決勝まで勝ち進み金メダルが目前になるが、イランの柔道協会から監督に催促の電話が入り、イランの外交からも担当者が来て圧力がかかる。さらに、二人のイランにいる家族が政

府に拘束されてしまう。自身にも家族にも危険が及ぶ中、怪我を装って試合を棄権し、政府の命令に従うよう、監督はレイラを説得する。政府に服従する2019年の日本武道館での世界柔道選手権で実際に起こった事件をベースに映画化。最初から最後まで、競技場を舞台に、スリリングな展開が続く。

監督は、政治得なかった。監督は、政治ではなく、スポーツ精神に則った試合を進めるべくレイラを守る。そして、レイラは髪を覆っていたスカーフを外す。



# 私のおすすめ 『ポタリングで春を探しにいきませんか』

日野市職員組合 執行委員長 宇野 雅勝

寒い日が続きますが皆さん健康のために運動を習慣づけていますか？人生100年時代と言われますが、そのためには足腰の筋力維持が重要だと思います。ランニングやウォーキングも良いのですが、手軽で膝に負担が少ない自転車でのポタリングをお勧めします。ポタリングとは、「サ



●出身地：東京都  
●組合歴：2019年～2023年書記次長  
2024年～執行委員長

このようにゆっくり走るポタリングなら、徒歩では敵しい遠方も、サツと行けるので、少し遠くの桜を見に川辺を走ったり、美味しいカフェに寄ったり、風景を撮影したりと、自分だけ

# 民間協 「岸まきこ」とともに⑧

都本部は、2023年9月の第49回中央委員会において自治労組織参議院議員の「岸まきこ」さんを2025年に行われる第27回参議院議員選挙の組織内候補予定者として推薦決定しました。本連載では各組織代表者の皆さんから、働く上での課題と各組織の取り組み紹介とともに、なぜ私たちの声を国政に届けなければいけないのか、についてお話をいただきます。第8回は公共サービス民間労協協議会長の小泉治彦さんにお話を聞きました。

①協議会について簡単に紹介ください。構成する仲間の皆さんの職種についても教えてください。  
都本部民間協は、2025年2月16日に第27回定期総会を開催しました。現在医療・介護職場は、改善には、労働組合法適用の48民は程遠い状況にあり、運動間労働組合で構成されているの強化が必要となっており、児童福祉、社会福祉、衛生医療、公共施設などの管理運営で、勤務先は民間企業、社協や社会福祉法人、東京都の管理団体や外郭団体など幅広く多岐にわたっています。

②現在、評議会の組合員が直面している職務上の課題や問題点を教えてください。  
2024春闘は、2015春闘以降最も高い水準の賃上げと言われています。議員との意見交換、総務省で、取り組みを強化します。

③これらの課題に対して、評議会としてどのような取り組みを行っていますか？  
月例の幹事会と隔月の役員会議と地協幹事会(23区と三多摩)、職域グループ(環境・児童福祉・社会福祉・衛生医療・一般)の二つした公共民間労働者の気持

④最後に、岸まきこ議員への応援メッセージと、一般組合員への呼びかけをお願いします。  
私たちの仕事は、合理化を理由に、かつての自治体直営業務が、指定管理や業務委託契約となっているケースが少なくありません。「自治体準拠」と言われながら、人件費まで低く抑えられているのが実態です。



公共サービス民間労協協議会 議長 小泉 治彦 (自治労八王子公共サービス職員労働組合)



# 岸まきこ

立憲民主党  
参議院議員(自治労組織内議員)

声を力に、一歩前へ

自治労の政策要求を  
実現しよう!

岸まきこ 公式サイト  
kishimakiko.com/

自治労は、第27回参議院選挙の全国比例区に「岸まきこ」現参議院議員の擁立を決定しました。

### 岸まきこ(岸真紀子)プロフィール

1976年北海道岩見沢市(旧栗沢町)生まれ。94年旧栗沢町役場入職(現岩見沢市)。2013年から自治労中央執行委員。19年第25回参院選(全国比例区)で初当選。現職に至る。